

食品リサイクル法の施行状況

平成18年8月

1. 食品廃棄物の発生量の推移等
 - (1) 食品廃棄物の年間発生量の推移
 - (2) 食品廃棄物の業種別発生割合の推移
 - (3) 食品廃棄物の業種別年間発生量の推移
 - (4) 発生抑制の取組事業所数割合

2. 食品循環資源の再生利用量の推移等
 - (1) 食品循環資源の業種別再生利用量の推移
 - (2) 食品循環資源の再生利用実施者別の割合
 - (3) 食品循環資源の用途別再生利用の内訳
 - (4) 再生利用の取組事業所数割合(再掲)
 - (5) 再生利用推進上の課題

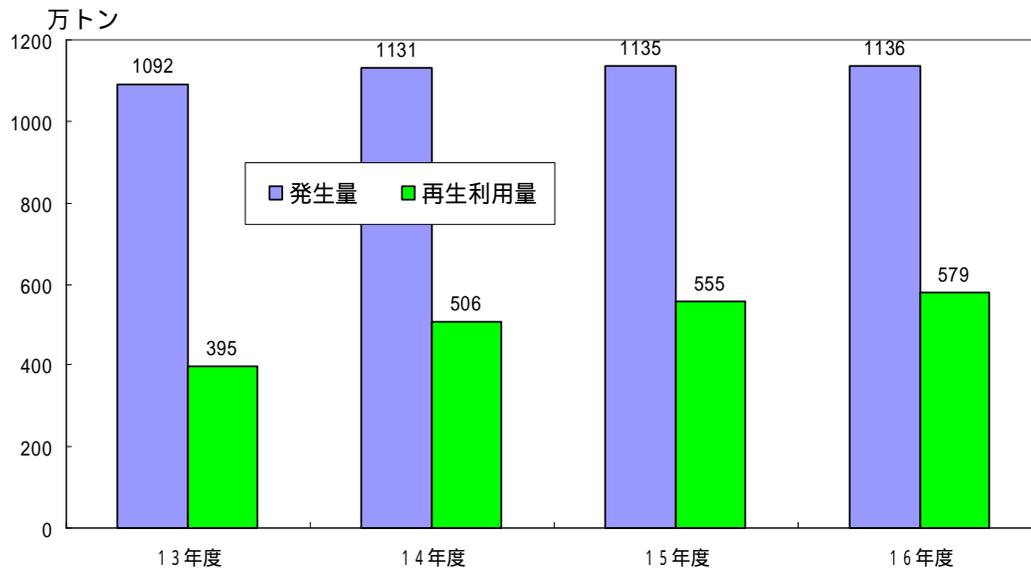
3. 食品循環資源の再生利用等実施率の推移等
 - (1) 食品循環資源の再生利用等実施率の推移
 - (2) 食品循環資源の再生利用等実施率別に見た事業所数割合
 - (3) 食品循環資源の再生利用等実施率の内訳
 - (4) 食品廃棄物のうち単純焼却または埋立処分されたものとみなされる量

4. 登録再生利用事業者の状況
 - (1) 登録再生利用事業者の内容別登録件数
 - (2) 登録再生利用事業者の延べ件数
 - (3) 登録再生利用事業者の全国分布
 - (4) 登録再生利用事業者の再生利用能力別分布
 - (5) 不適正な品質の製品を製造する再生利用事業者の例

5. 食品循環資源の再生利用の事例
 - (1) (社)日本フードサービス協会等と農事組合法人百姓倶楽部の取組
 - (2) (株)セブン&アイホールディングスの取組
 - (3) ユニー(株)の取組
 - (4) (株)アルフォの取組
 - (5) バイオエナジー(株)の取組

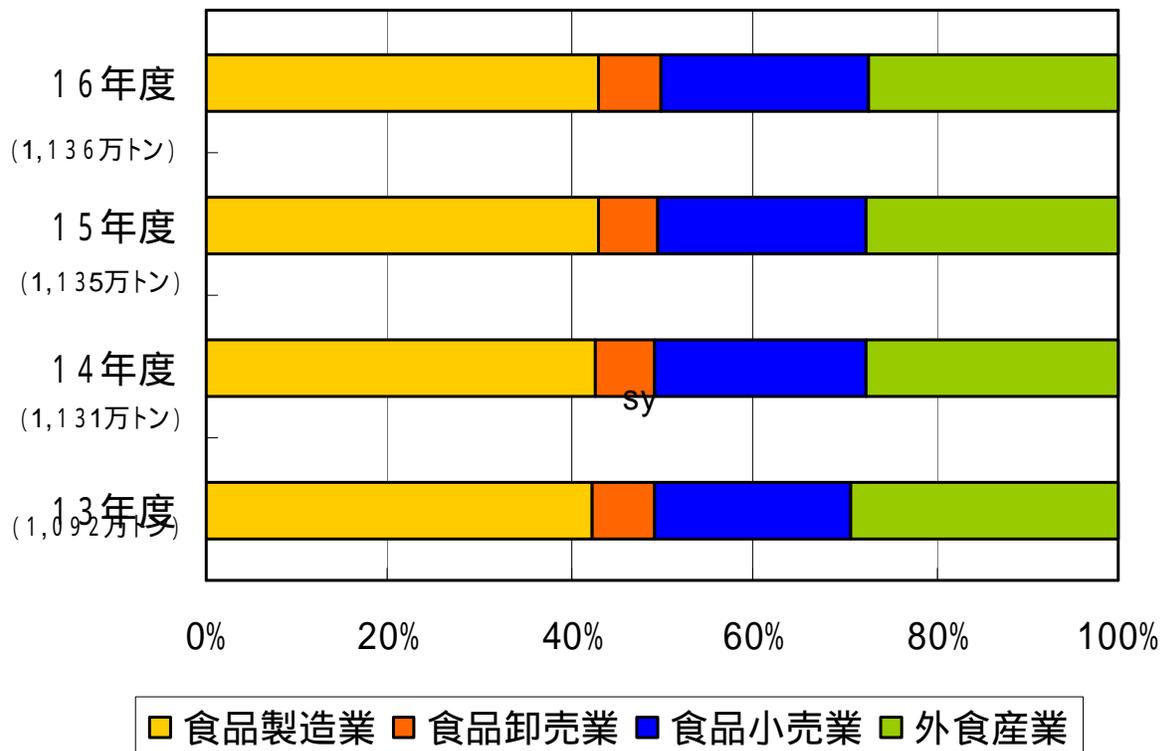
1. 食品廃棄物の発生量の推移等

(1) 食品廃棄物の年間発生量の推移



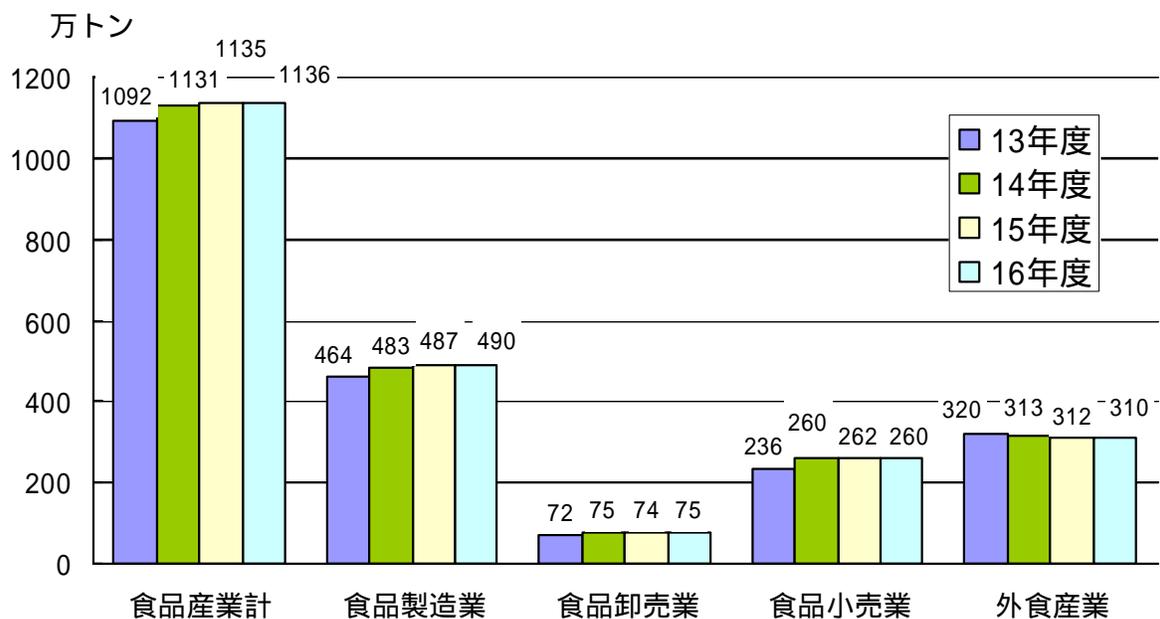
資料:「食品循環資源の再生利用等実態調査報告」(農林水産省統計部)

(2) 食品廃棄物の業種別発生割合の推移



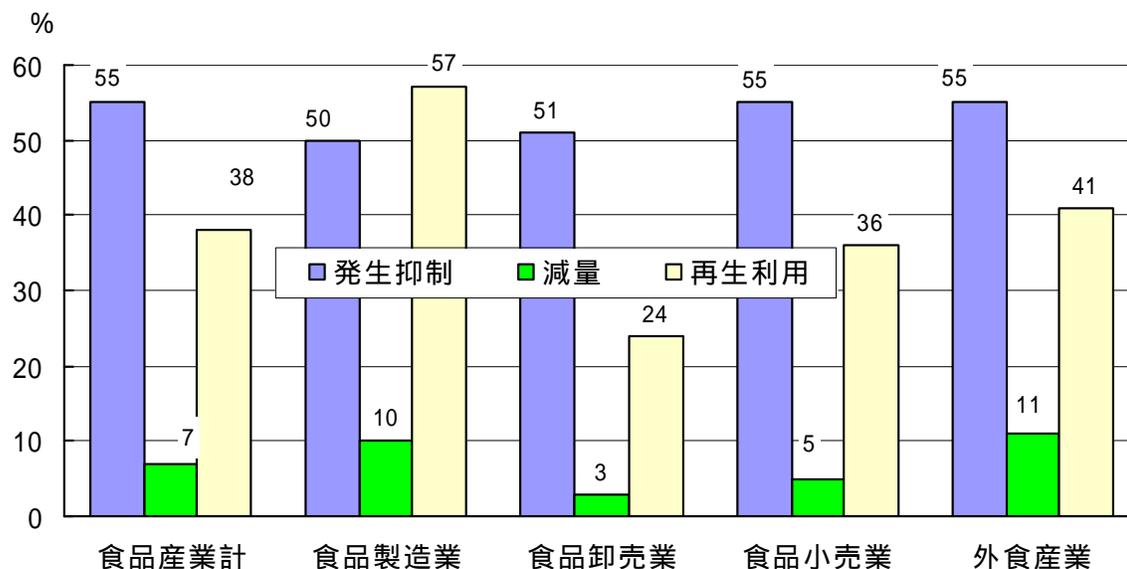
資料:「食品循環資源の再生利用等実態調査報告」(農林水産省統計部)

(3) 食品廃棄物の業種別年間発生量の推移



資料：「食品循環資源の再生利用等実態調査報告」（農林水産省統計部）

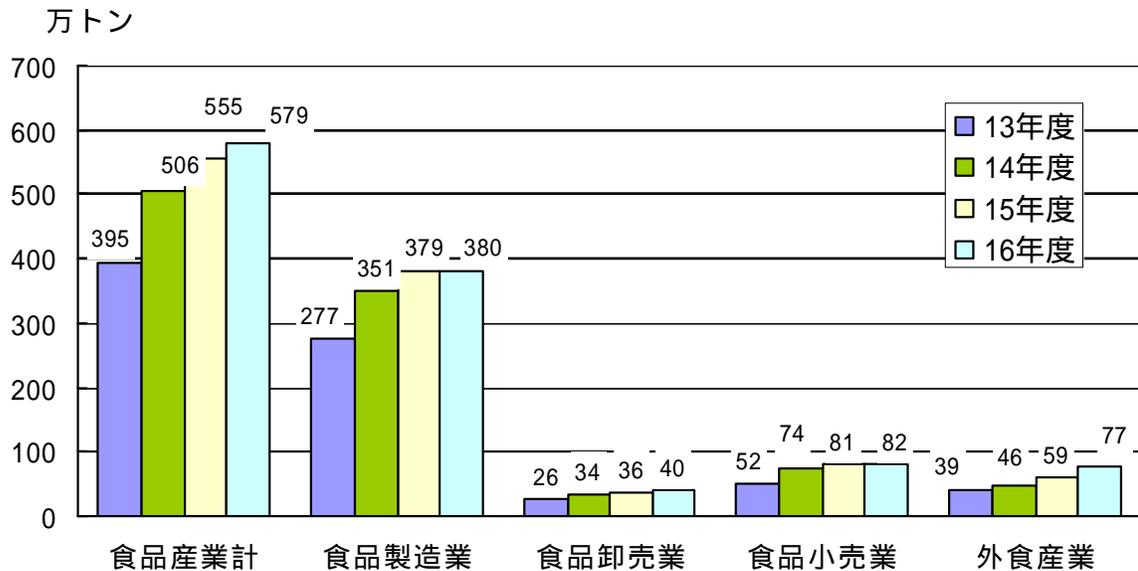
(4) 発生抑制の取組事業者割合



資料：「平成17年食環資源の再生利用等実態調査報告」（農林水産省統計部）

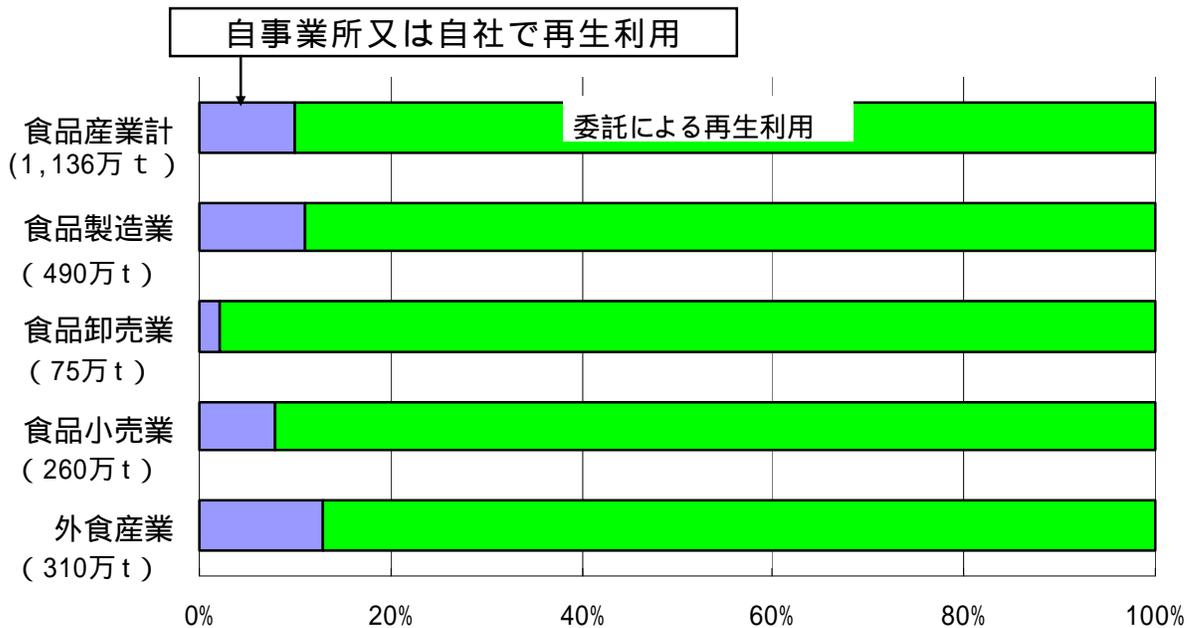
2. 食品循環資源の再生利用量の推移等

(1) 食品循環資源の業種別再生利用量の推移



資料：「食品循環資源の再生利用等実態調査報告」（農林水産省統計部）

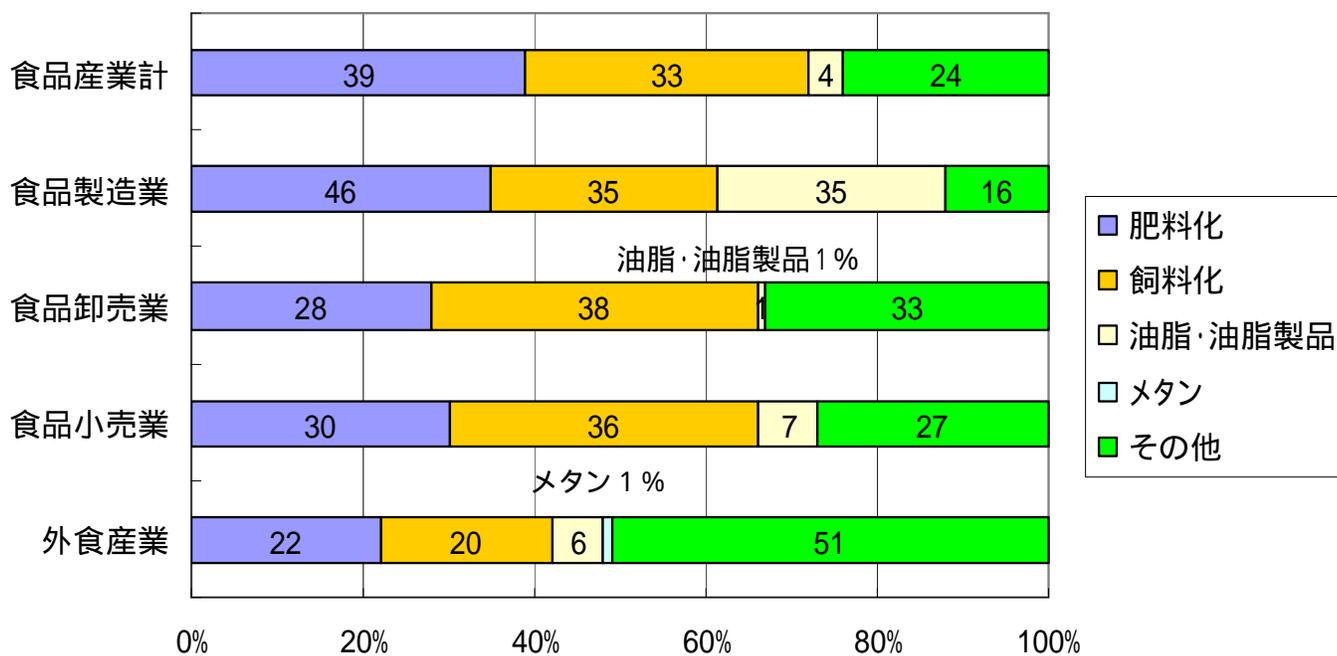
(2) 食品循環資源の再生利用実施者別の割合（平成16年度）



資料：平成17年食品循環資源の再生利用等実態調査結果の概要（農林水産省）

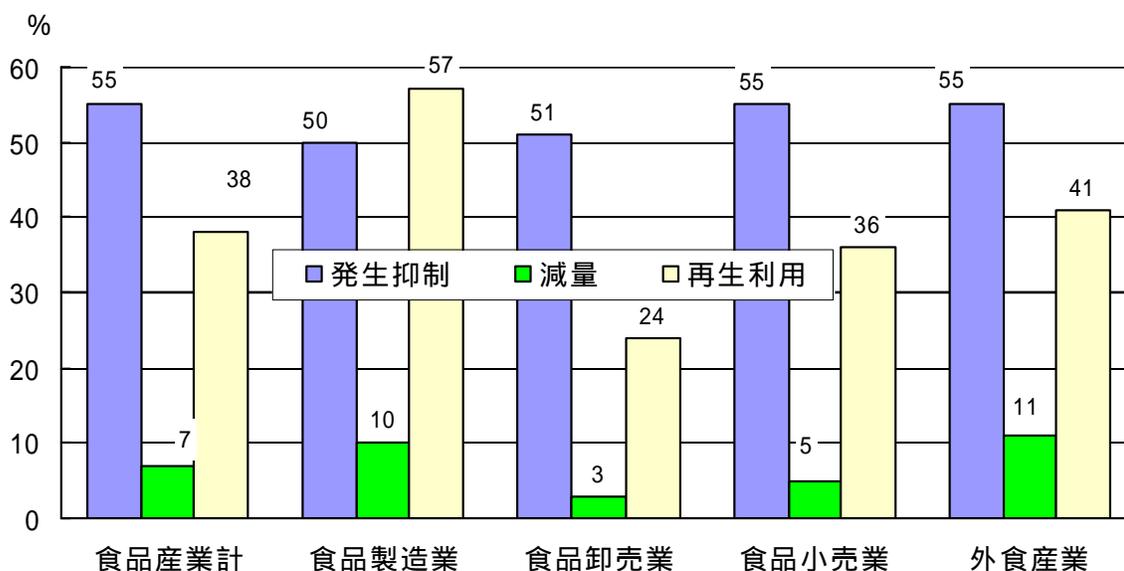
注：委託には有償・無償の別を含まない。

(3) 食品循環資源の用途別再生利用の内訳



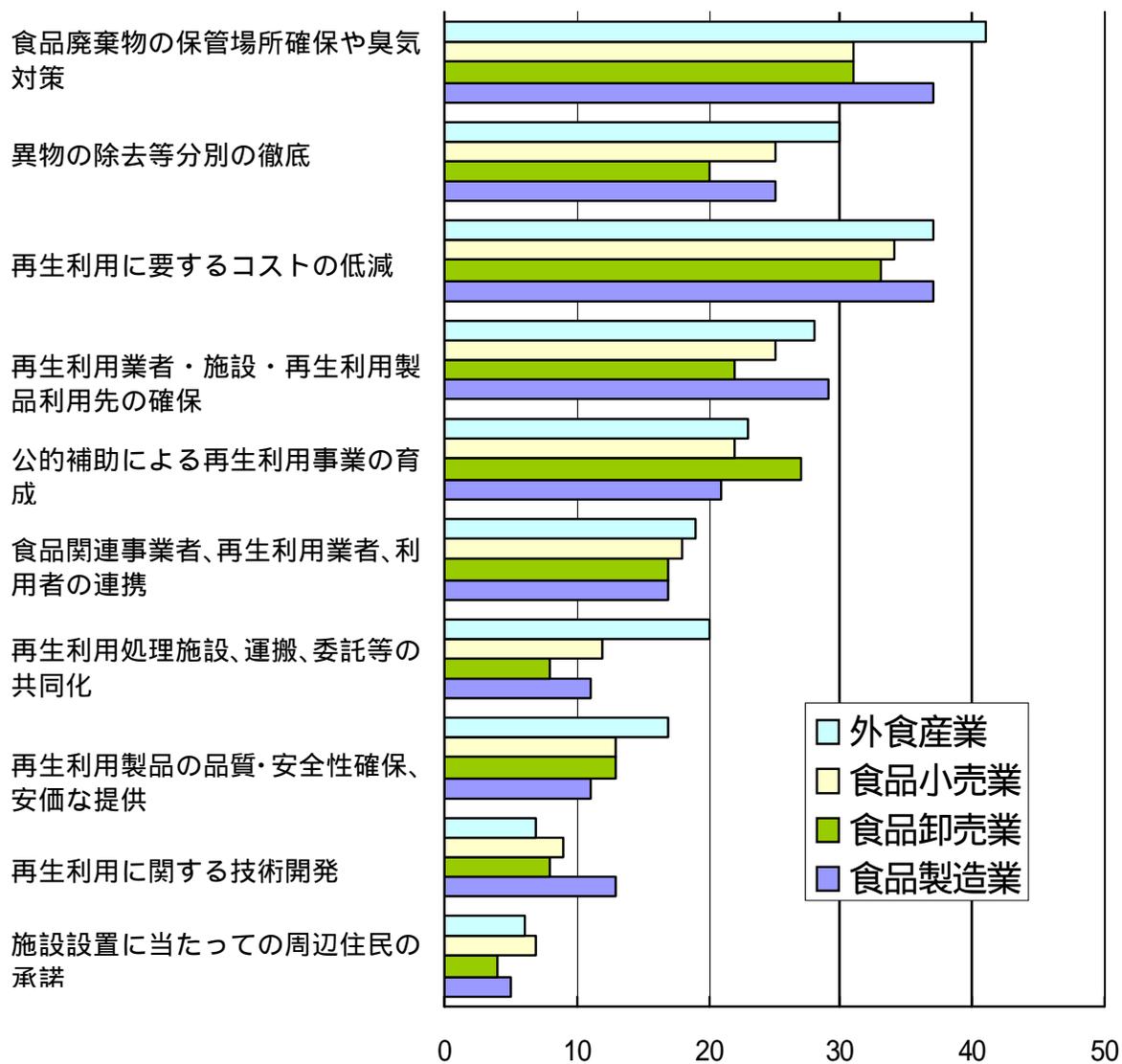
資料：平成17年食品循環資源の再生利用等実態調査結果の概要（農林水産省）

(4) 再生利用の取組事業者割合（再掲）



資料：「平成17年食環資源の再生利用等実態調査報告」（農林水産省統計部）

(5) 再生利用推進上の課題 (事業所別割合、平成 1 6 年度)



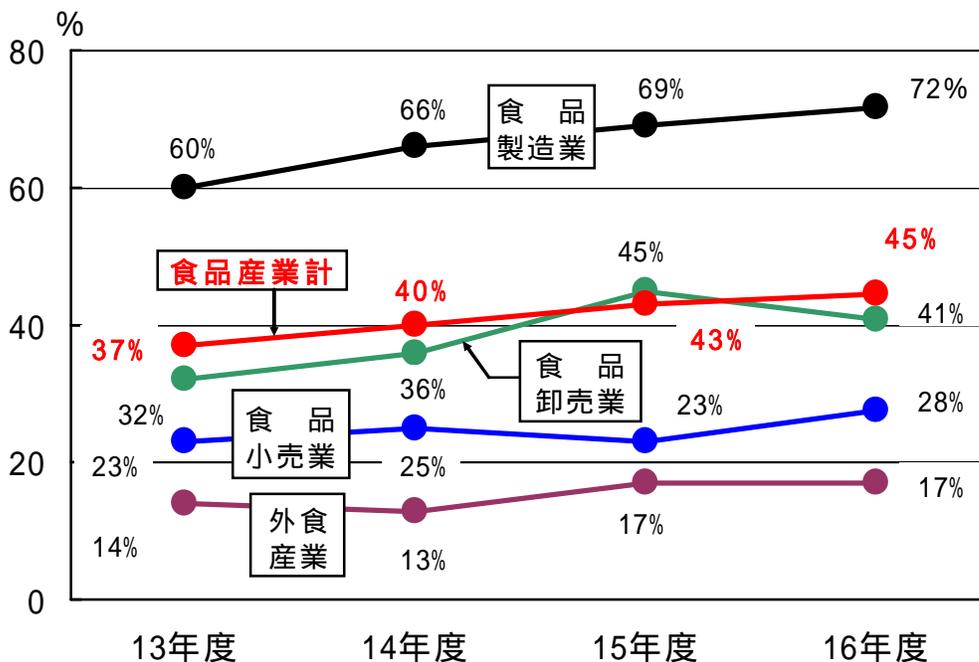
資料：「平成 1 7 年食品循環資源の再生利用等実態調査結果の概要」 (%)

(農林水産省統計部)

注：複数回答 (3 つまで) の結果を集計したもの。

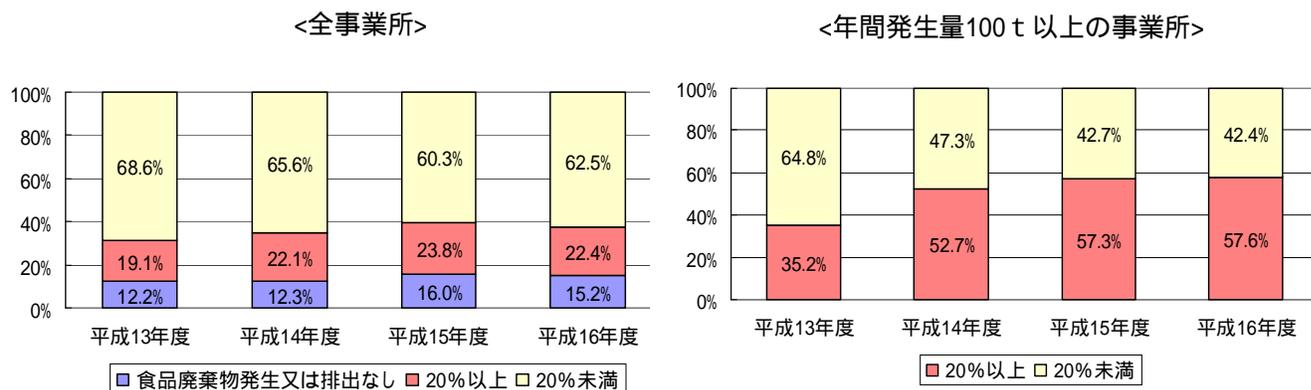
3. 食品循環資源の再生利用等実施率の推移等

(1) 食品循環資源の再生利用等実施率の推移



資料：「食品循環資源の再生利用等実態調査報告」（農林水産省統計部）により計算

(2) 食品循環資源の再生利用等実施率別に見た事業所数割合



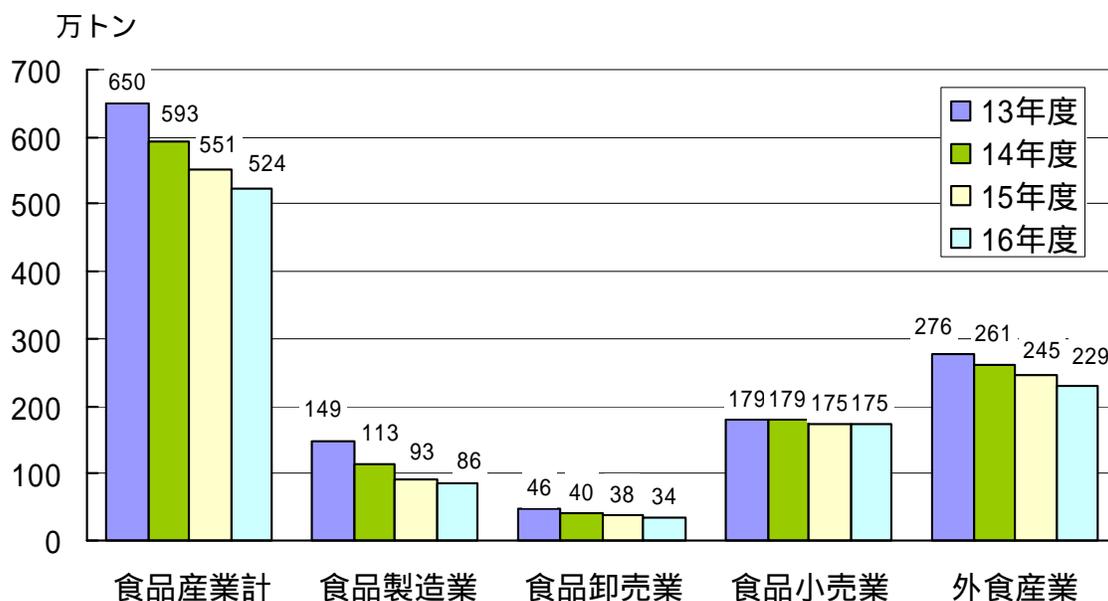
資料：食品循環資源の再生利用等実態調査報告（農林水産省統計部）により計算

(3) 食品循環資源の再生利用等実施率の内訳 (平成 16 年度)

	年間発生量 (万t)	再生利 用等の 実施率 (%)	発生 抑制 (%)	減量化 (%)	再生 利用 (%)	再生利用の用途別仕向割合 (%)			
						肥料化	飼料化	油脂及び 油脂製品化	メタン化
食品製造業	490	72	5	5	62	55	42	3	0
食品卸売業	75	41	6	2	33	42	57	1	-
食品小売業	260	28	4	1	22	41	49	9	1
外食産業	310	17	3	1	12	45	40	13	2
食品産業計	1,136	45	4	3	37	52	43	5	0

資料：「平成 17 年食品循環資源の再生利用等実態調査結果の概要」農林水産省統計部より計算。
注：計と内訳が一致しない場合があるのは、四捨五入のためである。

(4) 食品廃棄物のうち単純焼却または埋立処分されたとみなされる量の推移 (推計)



資料：「食品循環資源の再生利用等実態調査報告」(農林水産省統計部)

注：1) 「単純焼却又は埋立処分量」 = 「年間発生量」 - 「減量化量」 - 「再生利用量」として推計した。

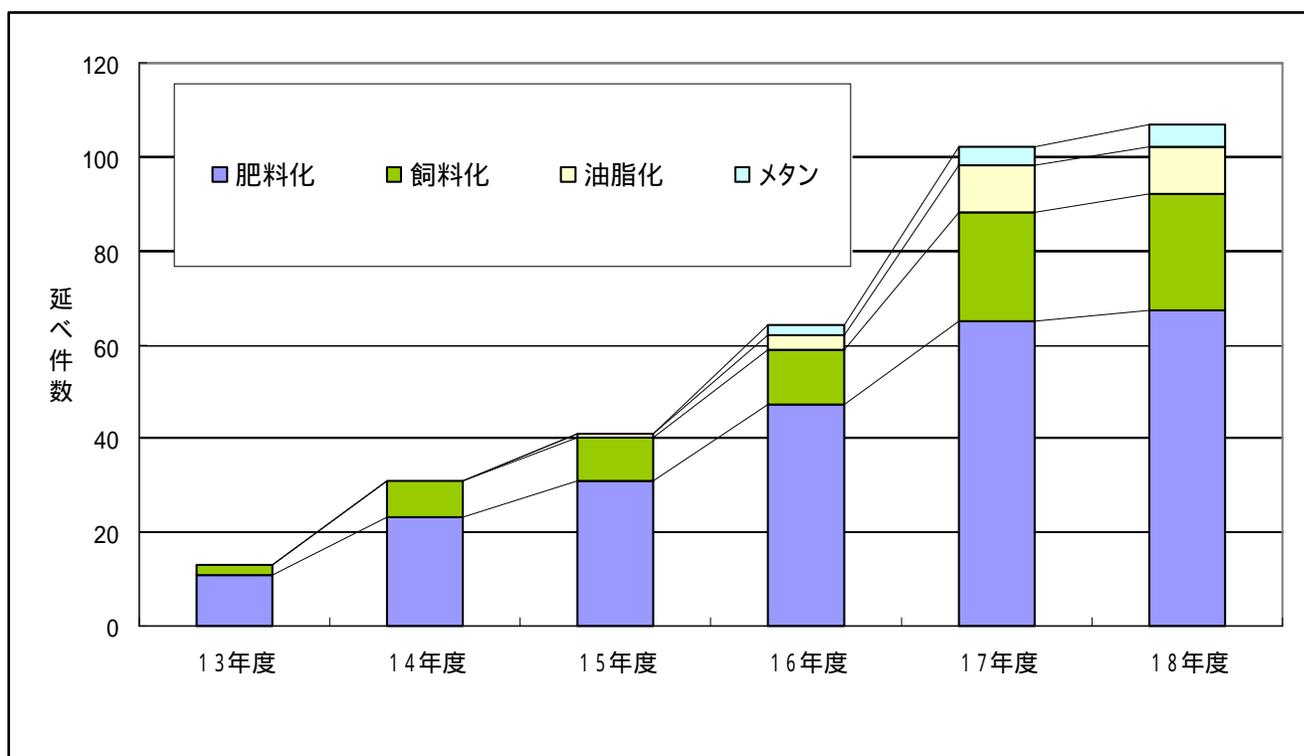
2) 注1の「再生利用量」は、食品リサイクル法に規定する用途に限定されない。

4. 登録再生利用事業者の状況

(1) 登録再生利用事業者の内容別登録件数(平成18年6月30日現在)

計	肥料化	飼料化	油脂化	メタン化	肥料・メタン化	肥料・油脂製品化	肥料・飼料化	飼料・油脂化	肥料・飼料・油脂化
93	59	17	5	2	3	1	2	3	1

(2) 登録再生利用事業者の延べ件数

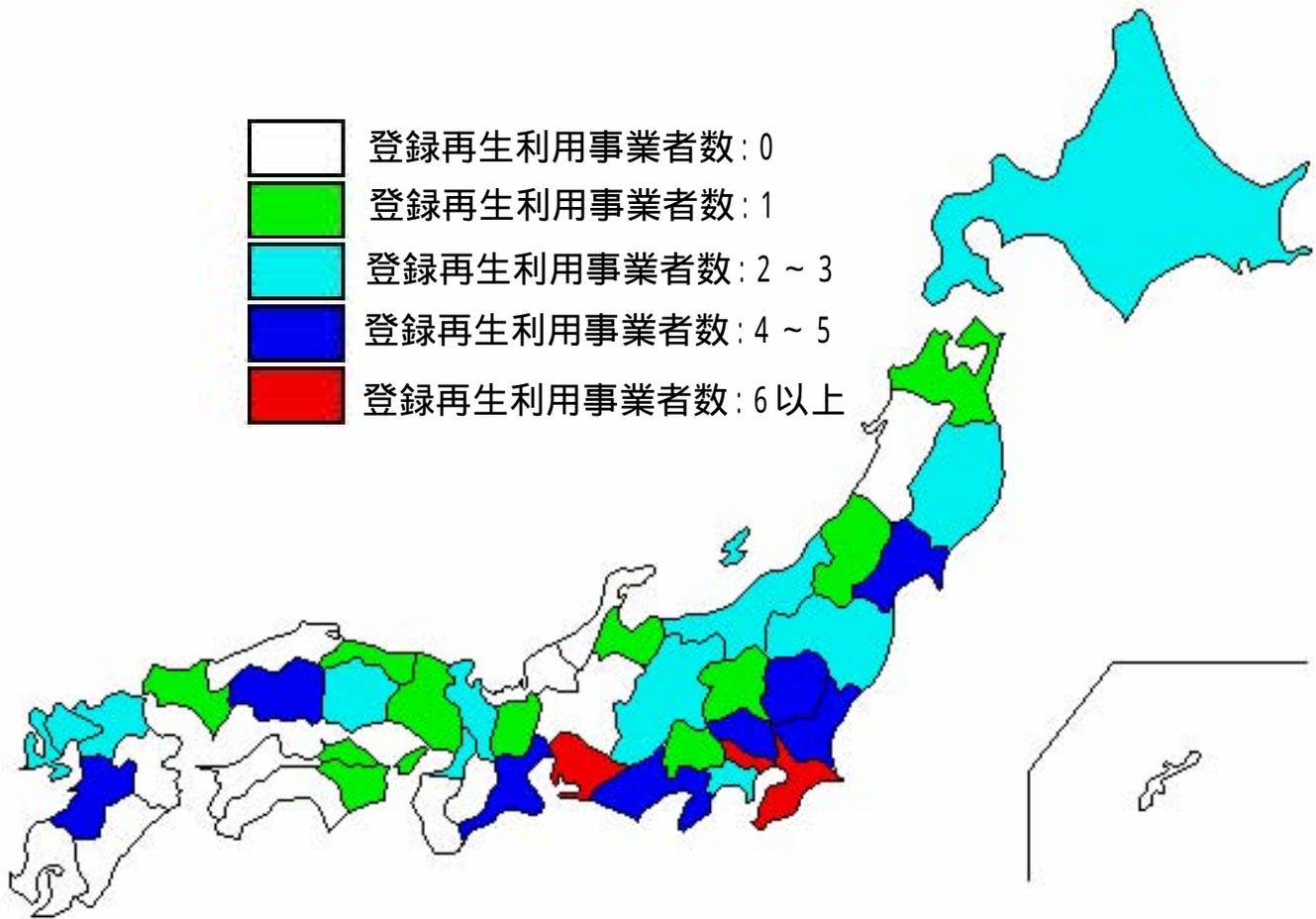


注:1) 6月末現在の数値を記載している18年度を除き、各年度とも3月末日現在の実績である。

2) 2種の事業内容を行う事業所が含まれるため、事業内容別の合計は、当該年度の登録総数と一致しない。

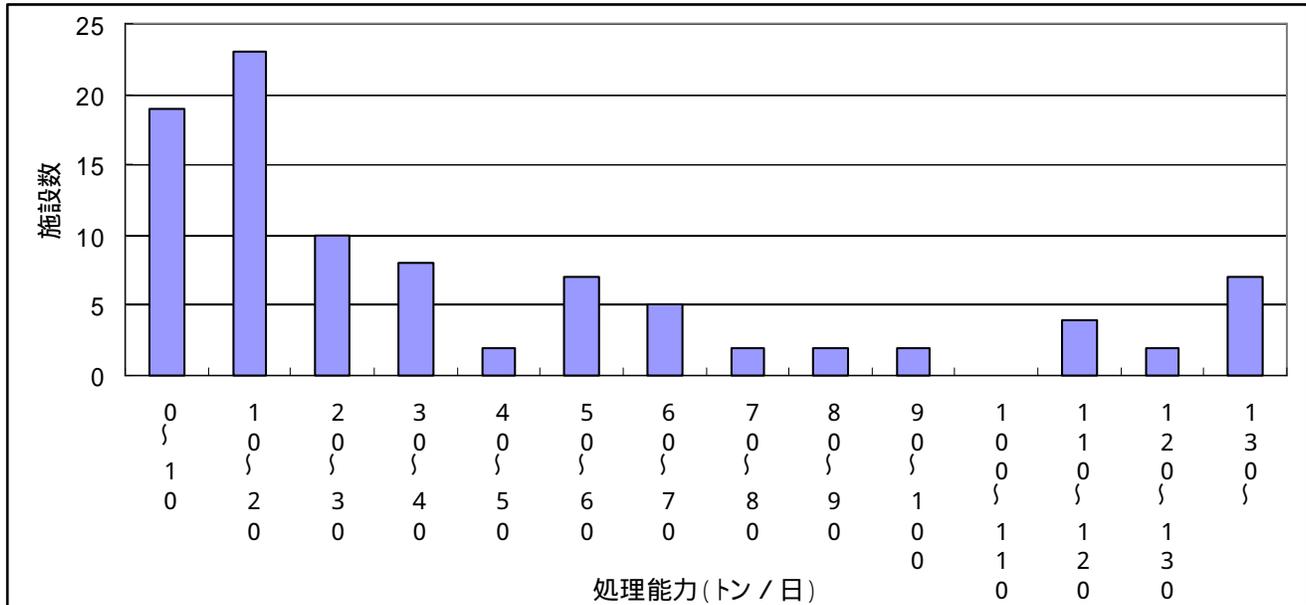
3) 各年度の実績には、18年度現在で登録が抹消されている事業所を含む。

(3) 登録再生利用事業者の全国分布図

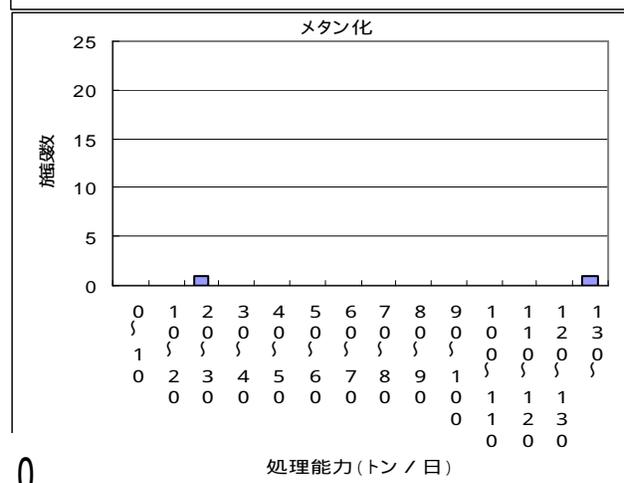
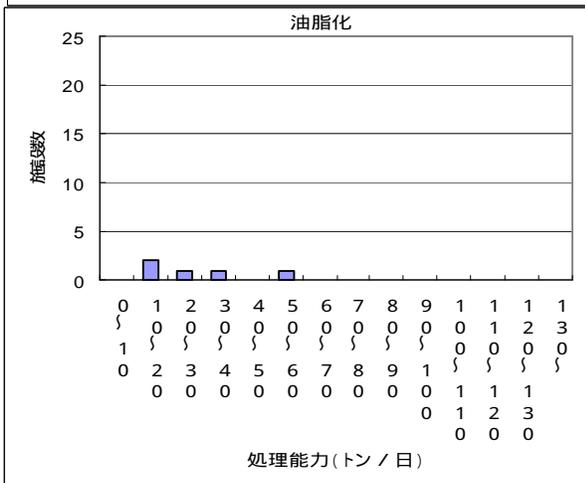
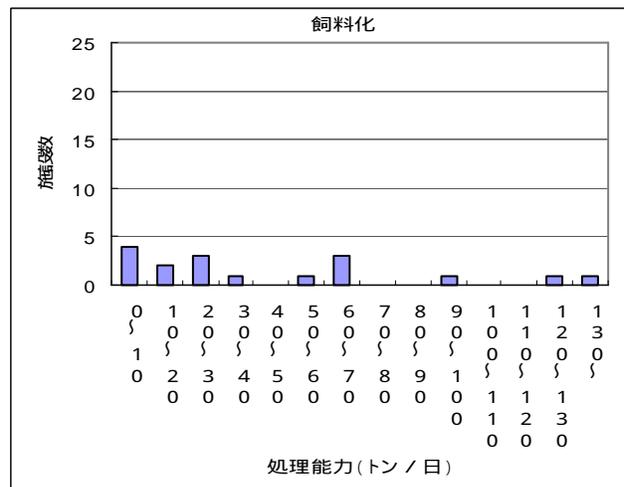
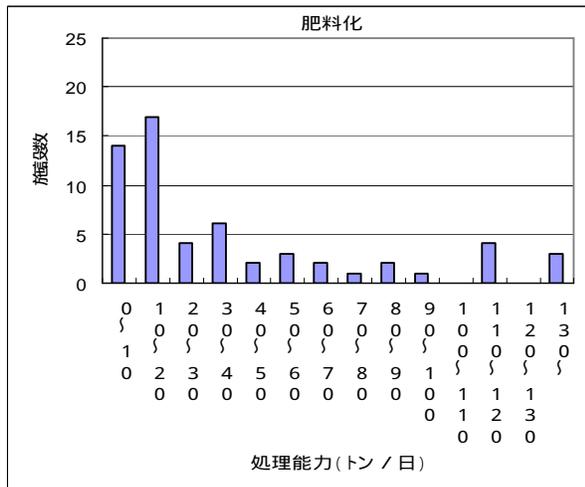


(4) 登録再生利用業者の再生利用能力の分布

登録再生利用業者の施設の再生利用能力別の分布



登録再生利用業者の再生利用内容別に見た施設能力の分布



(5) 不適正な品質の製品を製造する再生利用事業者の例

A事業者

(概要)

A事業者は、食品循環資源、市町村から回収した汚泥等を原料に肥料製造業を展開。

一方で、悪臭等地域住民からの苦情を行政に寄せられ、行政が同社や同社の肥料が投入された農地を調査。この調査により、肥料にプラスチック片等異物が混入している事実が確認され、かつ、肥料の種類や成分などを記す書類の内容も実際と異なっていたため、当該物は肥料ではなく廃棄物であると見なし、肥料取締法・廃棄物処理法等関係法令違反にあたるとして、是正を指示。

B事業者

(概要)

B事業者は、食品循環資源、市町村から回収した汚泥等を原料に肥料製造業を展開。

一方で、同社製造の肥料を利用した農業者から、作物の生育障害等の被害が行政に寄せられたことから、肥料が投入された農地を調査。この調査により、肥料に腐熟していない木くず等異物が混入している事実が確認されたことから、当該物は肥料ではなく廃棄物であり、不法投棄にあたる行為であることから、早急に農地の原状回復を行うよう指示。

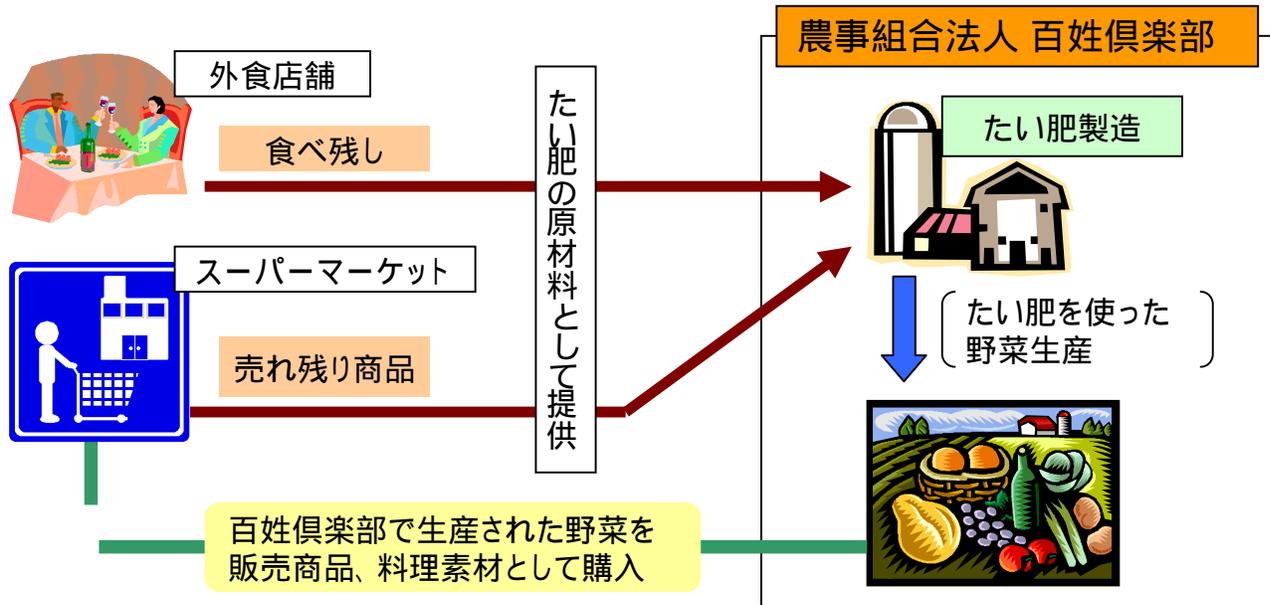
(資料) 農林水産省調べ

5. 食品循環資源の再生利用の事例

(1) 食品関連事業者の取組事例

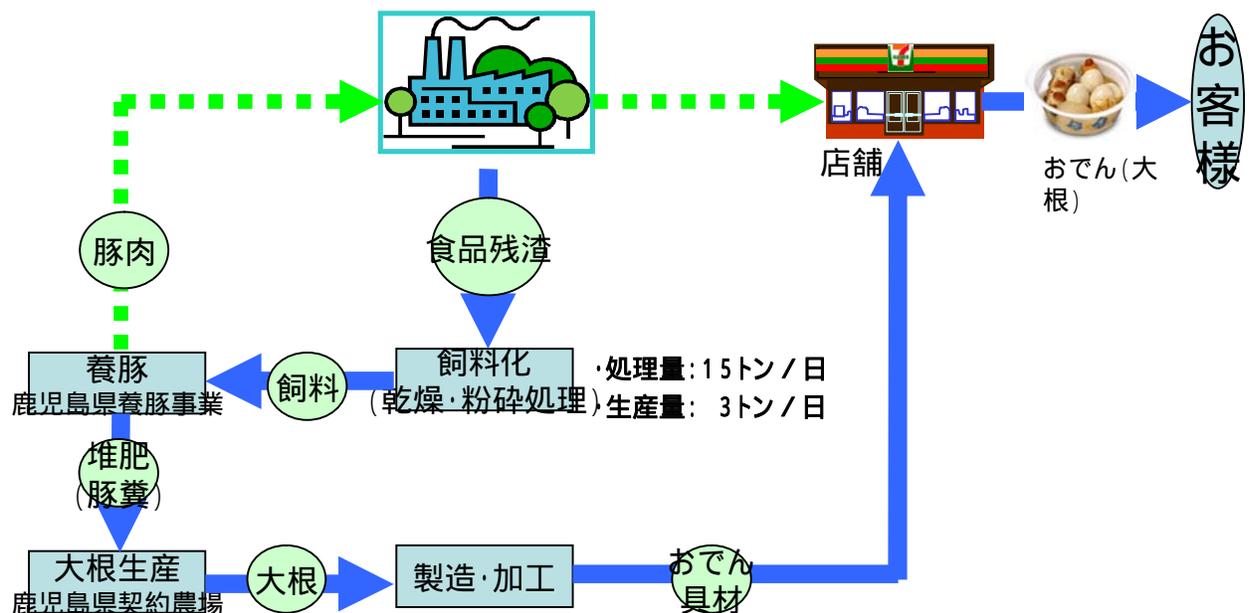
(社)日本フードサービス協会等と農事組合法人百姓倶楽部の取組

外食産業の全国団体である(社)日本フードサービス協会が中心となり、茨城県下妻市において、農業者の協力を得て食品廃棄物をたい肥化し、そのたい肥を用いて生産された野菜を購入して店舗で利用する取組を実施。地元店舗を持つスーパーマーケットも参画。



(株)セブン&アイホールディングスの取組

セブン&アイホールディングスは、専用工場では食品残渣を腐敗しにくい冷蔵保存しており、畜産農家ででの飼料への有効活用を進めている。また、工場からの食品残渣を基点とし、店舗商品に結びつく循環型リサイクルのネットワーク作りを進めている。



ユニー(株)の取組

ユニーは、店舗の処理機で乾燥させた食品廃棄物を原料にした堆肥で栽培した大根を使い、鮮魚売場で販売する刺身のツマに使用。



(2)再生利用業者の取組事例

(株)アルフォの取組(飼料化)

アルフォは、厨芥類、食品製造残さ等食品廃棄物を廃食用油を熱媒体として乾燥処理し、養鶏・養豚用飼料を製造。



バイオエナジー(株)の取組(メタン化)

バイオエナジーは、首都圏から収集・運搬された食品廃棄物を365日24時間体制で受け入れ、固形状のものは、「破砕機」にかけて微細化し、「選別機」で廃プラスチックなどの不適物を取り除き、メタン発酵の原料となる廃棄物を貯留し、「発酵槽」で「メタン発酵」を行ない、発生したバイオガスにより、燃料電池等を用いて発電。

